

製品名: 絨毛性ゴナドトロピン β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08777**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	CGB
別名	CGB; CGB3; CGB5; CGB7; CGB8; Choriongonadotropin subunit beta; CG-beta; Chorionic gonadotrophin chain beta
遺伝子 ID	1082/93659/94027/94115
SwissProt ID	P01233
免疫原	抗血清はヒト hCG ベータ由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 101-150

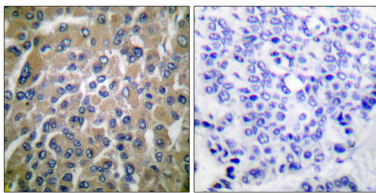
背景

この遺伝子は糖タンパク質ホルモン β 鎖ファミリーの一員であり、絨毛性ゴナドトロピン (CG) の $\beta 3$ サブユニットをコードしてい

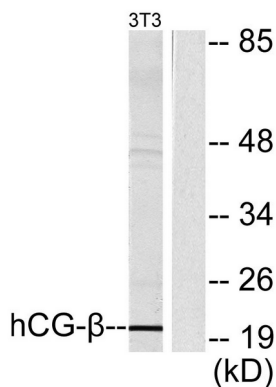
ます。糖タンパク質ホルモンは、共通の α サブユニットと生物学的特異性を付与する固有の β サブユニットからなるヘテロ二量体です。CGは胎盤の栄養芽細胞によって産生され、卵巣を刺激して妊娠の維持に不可欠なステロイドの合成を促します。CGの β サブユニットは、染色体19q13.3上にタンデムかつ逆位対で配列し、黄体形成ホルモン β サブユニット遺伝子と隣接する6つの遺伝子によってコードされています。[RefSeq提供、2008年7月]、発育段階：妊娠初期の胎盤で産生される。、機能：卵巣を刺激し、妊娠の維持に不可欠なステロイドの合成を促す。、オンライン情報：絨毛性ゴナドトロピンの投与開始、医薬品名：ノバレ（フェリング社）およびプロファシ（セローノ社）として入手可能。肥満治療における補助療法として用いられる。カロリー制限による減量効果を上回る、脂肪のより魅力的または「正常な」分布をもたらす、またはカロリー制限食に伴う空腹感や不快感を軽減するという実質的な証拠はありません。、類似性：糖タンパク質ホルモンサブユニットベータファミリーに属します。、サブユニット：共通のアルファ鎖と、甲状腺刺激ホルモン、ルトロピン、フォリトロピン、およびゴナドトロピンに生物学的特異性を付与する固有のベータ鎖のヘテロ二量体です。、組織特異性：胎盤。、

研究分野

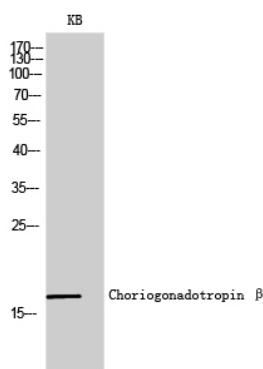
画像データ



hCG ベータ抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



hCG ベータ抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の絨毛性ゴナドトロピン β ポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析

